

2026年度 入学式 式辞

新入生の皆さん、ご入学、おめでとうございます。

本日、名古屋学院大学は、学部生 1,596 名、大学院生 23名、留学生別科生 7名、合わせて 1,626 名の新しい仲間を迎えることができました。ご列席いただいた皆さまとともに、大学を代表して心よりお祝いを申し上げます。そして御来賓の皆さま、本日は、ご多忙のなか、ご臨席いただきありがとうございます。

また、この式典にご来場いただきましたご家族・保護者の皆さま方、ご子息・ご令嬢のご入学に、心よりお祝い申し上げます。我々教職員一同は、ここに集う新入生たちが、本学での4年間を通して、21世紀の社会に貢献できる人財として成長できるよう、全力をあげて支援することをお約束いたします。

さて、新入生の皆さん、入学式は皆さんを歓迎するセレモニーであるとともに、大学生活のスタートの場でもあるわけですから、ここで「大学に進学した」ことの意味を確認しておきたいと思います。それは、大学生活を通じて自分を大きく「成長」させるため、つまり、自らの可能性を大きく広げるための挑戦に臨むためにここにいるのです。そのような決意を噛み締めている皆さんに本学は何を提供できるかをまずお話していきたいと思います。

名古屋学院大学はキリスト教主義に基づく人間教育を目指し、「敬神愛人」を建学の精神とする大学です。名古屋、瀬戸の二キャンパスに人文社会科学からスポーツ・医療科学までの 9 学部 9 学科、大学院 2 研究科 5 専攻と留学生別科を擁する総合大学となっています。「高い志と豊かな国際感覚を備え、社会の発展に貢献できる人材の育成」を教育目標に掲げ、各学部が特色ある教育を展開しています。

全学に通じる特色としては、語学力と異文化理解力を深める「国際交流」、実社会のビジネス課題に取り組む先進的な「課題解決型学習」プログラム、社会人として求められる能力を養い、高い就職実績を誇る「キャリア形成教育」、情報通信技術を活用した最先端の「情報教育」と「コミュニケーション・システム」、そして全国トップレベルの地域社会に貢献する「社会連携教育」に力を注いでいます。さらに、それぞれの学部での主専攻に加えて他学部の学問分野を副専攻として選択できる豊富な学びの仕組みも用意しています。これら豊かな教育機会をどうぞ積極的に活用してください。

そして、このような多彩な本学での学びの根底にある考えを表すのが、建学の精神である「敬神愛人」という言葉です。「神を敬い、人を愛する」というこの言葉は、今から139年前の明治20年(1887年)に本学につながる「名古屋英和学校」を開設した米国人宣教師、クライン博士が選ばれたものです。

「神を敬う」とは、創造主に対する畏敬の念をもつことですが、「学び」という文脈で聖書を紐解くと「主を畏れることは知恵の初め(箴言 1:7)」という言葉があります。我々人間は、不完全な存在であるからこそ、少しばかり知識や技能を得たからといって驕るのではなく、より一層謙虚に物事の真理を追究する姿勢が大切であるという意味です。つまり、「敬神」とは教わる者も、教える者も、共に謙虚でありなさい、ということです。そして、後半の「人を愛する」とは、そのような謙虚で寛容な心を持って他者に対して優しくあること、「隣人愛」の意味を持ちます。

さて、21 世紀に生きる私たちは、ただ知識や情報を得るだけなら大容量データが行き交うインターネット通信や進歩著しい生成 AI に頼ることで用が済むのかもしれませんが。しかし、どんなにテクノロジーが進んでも、私たちの前には正解がない、あるいはなかなか見つからない課題がたくさん残ります。環境、エネルギー、貧困、差別、紛争や超高齢化など利害が複雑に絡み合い、国境までも超える重要なテーマがたくさん並んでいます。

大学では、こうした問題に対し、自ら問いを見つけ、その解き方を探し、そうして得られた答えの正しさを検証する地道な作業まで、すべて自らの責任で行うことになります。その過程は、なんとも長く遠回りに思えるかもしれませんが。しかし、安易に手に入れられる解はすぐに陳腐化して役に立たなくなります。苦勞を重ねて試行錯誤をいとわないことが、現代の複雑な社会問題への本質的な理解や創造的な発想につながります。

このように申し上げると、大学での学びが大変重いもののように思われるかもしれませんが。しかし、大丈夫です。名古屋学院大学には、皆さんに寄り添って励まし伴走する、隣人愛あふれる教職員、先輩や仲間たちがたくさんいます。キャンパスが建つ地域の方々も皆さんを歓迎し、応援してくれます。皆さんは、きっとかけがえのない友人たちと出会い、教職員や地域の方々との深い交流を得られるでしょう。

新入生の皆さんは、大学キャンパスを舞台にこれから新しい世界へとつながっていきます。そこでは、これまで予想もつかなかった新たな可能性や夢が見えて来ます。皆さんが成りたい自分、成し遂げたい目標が必ずや見つかります。皆さんの可能性に何ら制限はありません。過去の経験や先入観にとらわれず、大学での第一歩を踏み出してください。新しい世界に足を踏み入れることに自信が持てないことは誰しも同じです。時には失敗もあるでしょう。しかし、謙虚に学び人を愛する心、「敬神愛人」を指針として周囲の人々と協働しながら自らの将来を開くべく挑戦してください。

いよいよ新しいステージの始まりです。

地域に開かれ世界につながる本学のキャンパス空間を、自身の人間的成長と可能性を切り開く「知の装置」として活用してください。大学生活の 4 年間でどこの誰にも負けない「付加価値」を与え、皆さんの成長と果敢な挑戦を、全学をあげて支えます。本学で過ごされる時間が、「敬神愛人」の意味を求めて学ぶ道のりが、皆さんにとって、希望に満ち豊かに人生を生きるための、大きな礎となることを願い、入学式の式辞とさせていただきます。

ご入学おめでとうございます！

2026 年4月 1 日

名古屋学院大学 学長 伊沢 俊泰